

として勤務されていたそうですね。今回、移住先に紀宝町を選んだ理由をお聞かせいただけませんか。

森本…色々な方に同じ質問をいただきますが、紀宝町を好きになったというのが私の答えです。地域医療という仕事だけでなく、大自然や住んでいる方々との関わりの全てが重なり、紀宝町に移住することを決めました。また、防災に強い町であることも後押ししてくれました。自然災害に強い町は、コロナにも強く、何より子育てをしやすくと移住を検討していたときから確信していました。そして私も医師として住民の命を守るまちづくりに関わりたいと思っていました。

地域医療を 紀宝町の文化に

町長…現在、少子高齢化・人口減少社会の中で、医療介護の専門職だけでなく、個々の住民を含む様々な関係者が、医療・介護サービスの需要が急増する困難な社会課題に対して、力を合わせて取



あらゆる町民のみなさんが 「健康」を身近に感じられるように

り組んでいただいています。寝たきり等で医療・介護の必要度が増しても、住み慣れた地域で自分達の暮らしを人生の最期まで続けることができる、そのようなまちづくりを目指していきたいと思っております。

医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供できるような体制として「地域包括ケアシステム」の構築が重要であり、速やかに実現

していきたいと思っております。ぜひ先生にはお力をお貸しいただきたいのですが、先生は今後、地域医療の現場で取り組んでいきたいことはありますか。抱負でもよろしいのでぜひお聞かせください。

森本…昨年10月に紀宝町地域医療研修センターを設置していただきました。おかげさまで活動は順調に進



紀宝町地域医療研修センターのロゴマークには無限(∞)の楽しさ、海山川の緑と青、成長の象徴であるちようちよをモチーフにしています。

んでいて、今月も三重大だけでなく、北海道や岩手県などの遠方から医学生が地域医療を学ぶために紀宝町へ来てくれています。今後は研修センターの活動を発展・持続させていき、あらゆる住民のみなさんが「健康」を身近に感じられるようにしたいです。そして、町民同士で一緒に考えることができ、健やかに暮らせるまちを目指していきたいです。

町長…先生の地域医療や健康に対する想いは大変すばらしいと思います。地域医療を紀宝町の文化にしていきたいと思えますし、全国に向けてその魅力を発信し

ていきたいと思っています。先生のところにはすでにたくさんのお学生さんたちが学びにきているようですが、具体的にはどのようなことを教えられているのでしょうか。

森本…我々医師の学ぶ学問の中に「患者中心の医療の方法」という分野があります。地域医療ではその実践技術が学びやすいです。住民のみなさまに普段の暮らしぶりや人生の物語を聞かせていただくことができるので、それが学生さんにとって非常に貴重な機会になっています。患者さんに対して優しく接する方法を、患者さんから教えてもらうことができる。これが地域医療の最大の魅力であり、私が学生のみなさんにお伝えしていることです。

在宅医療の推進を

町長…ありがとうございます。私は地域包括ケアシステムの推進を公約に掲げていますので、同じベクトルの想いをもった方に町医として

力していただいておりますね。南海トラフ地震では、西割れや東割れといわれるように、短期間で2回同じような規模の地震が起きることも予想されています。南海トラフ地震対策について、先生が重要と思っていることを教えてください。

森本…町長が言われるように南海トラフ地震では、この紀伊半島南部は東西の境目に位置しますから、1回目揺れても2回目が発生するおそれがあるため支援行動が非常に難しくなります。その特徴とも関連し、水や電気などのライフラインの障害が少なくとも1か月程度続く可能性が高いです。耐え抜くためには十分な備蓄が必須であり、各家庭や事業所での対策が求められています。

また、資源の備蓄だけでは不十分であり、日常生活の中でいかに体制を整えるかが重要な備えにつながると考えています。具体的には地域包括ケアシステムを発展させ続け、災害時にも多職種連携がスムーズにできるようにしておくのがよろしいかと思えます。

町長…これは有意義なお時間をいただきありがとうございます。ありがとうございました。

これからのポストコロナ時代に求められる優秀な人材の育成・確保をはじめ、人生100年時代の超高齢化社会のニーズに合わせた地域包括ケアシステムの推進と、住み慣れた家や地域で安心して暮らせるまちを実現するために、地域医療、在宅医療を充実させたいと考えておりますので、ともにがんばっていきましよう。

お越しいただき、大変心強く思っています。さらに先生は地域包括医療・ケア認定医の資格をお持ちです。専門的に勉強された方からみて、紀宝町の地域包括ケアシステムに関する課題や、先生自身が取り組んでみたいことはありますか。

森本…王道のテーマなのですが「在宅医療」が日本中どの地域の課題でもあり、私

が紀宝町で取り組みたいことでもあります。高齢になった町民の方が病気や障がいを抱えながらも住み慣れた地域で過ごし続けるためには、保険制度の充実だけでなく、手元に届ける医療・介護サービスを地域が保有しないとけません。地域を問わず在宅医療の需要推計は大きく、対応する資源が圧倒的に少ないと言われています。組織を縦割りにせず、

住み慣れた家や地域で 安心して暮らせるまちづくりを



南海トラフ地震に備えて

町長…それでは最後に防災の話もさせていただきます。紀宝町では南海トラフ地震対策について、防災タイムライン整備とともに進めている最中です。

すでに森本先生には町内のコロナ対策だけでなく、災害時の医療体制づくりにも健康危機管理官として尽